

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1
相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23

2017
No. 31

familiar



患者のみなさまに
食の安全と安心を

杉若靖子さん

インタビュー society で活躍する卒業生

日清医療食品株式会社
相愛大学人間発達学部卒業生



日清医療食品株式会社
管理栄養士

杉若靖子 さん

2012年3月 相愛大学人間発達学部発達栄養学科卒業
2012年4月 日清医療食品株式会社入社

患者のみなさまに 食の安全と安心を

社会で活躍する卒業生



病院・福祉施設などへの食事サービス業界。そのリーディングカンパニーである日清医療食品株式会社に入社して5年。さまざまな病院で献立作成などに携わってきた管理栄養士・杉若靖子さんは「最近ようやく管理栄養士としての仕事がかつてきたような気がします」と穏やかに語ります。そんな杉若さんに、仕事の話や学生時代のエピソードなどを聞きました。

現場ではオールマイティに活躍

現在の職場は、大阪府下の急性期病院。主な仕事は、患者さんに提供する食事の献立を作成することです。「病態管理に関しては病院側の管理栄養士さんが担当しますが、食事の管理、献立作成や発注業務、盛りつけなど、現場の業務についてはオールマイティに裁量できる立場をいただいています。

病院での食事は、食の安全を第一に考えま

す。「おいしいご飯を出すことは、病院食でも当たり前と思われるようになってきました。とはいえ、やはり食の安全は基本中の基本。どんなときも忘れてはけません」。食事を通じて患者さんの体調を管理しなければならない仕事だから、自分自身の体調管理にも気を使っています。日頃から実践していることは?と聞くと、「牡蠣は好きですが、絶対食べません」。就職してから、一度も口にしていないそうです。「プライベートでも食品衛生には非常に注意を払います。万が一ということをいつも考えるので。

患者さん一人ひとりに配慮して 行事食を提供



病院での普段の食事は、季節に合わせて食材を変えていくとはいえ、さほど変化はつけられません。その単調さを補うため、杉若さんたちはお正月、節分、バレンタイン、ひなまつり、クリスマスなど季節の行事に合わせた「行事食」という特別メニューを提供しています。「どんな内容にするかの企画出しから、どういう作業工程で作るかなどについて、調理師さんとも綿密な打ち合わせをしながら考えていきます」。病気などのため行事食を食べられない患者さ



んにも配慮し、「例えば節分のときには、常食が食べられる方には巻き寿司を、咬む機能が弱い方には具を細かく刻んだちらし寿司をお出ししています」。

まとめ役としてスタッフの言い分を とことん聞く

現在はリーダーとして、受託先の病院で働く日清医療食品株式会社のスタッフ25人ほどをまとめています。「一番大変なのは、さまざまな年齢層の人をまとめることです。最年長のスタッフは自分の親より年上。そういう方に指示を出さないといけない時には、やはり神経を使います。大勢のスタッフに認めてもらう人間であり続けるために、勉強が必要だなと思います」。人をまとめるコツは?「まず話を聞くこと。そのうえで何度も話し合います。この仕事を始めた最初の年は、人間関係を学ぶことで精一杯でしたね。最近やっと自分の意見をきちんと伝えることができるようになりました。ようやく管理栄養士になれたというところです」。

ゼミ仲間と支え合い、 国家試験に全員合格

「学生時代にゼミの仲間たちで国家試験に向けて勉強した日々は良い思い出です。先生のバックアップはすごかったですね。一つ質問したら十の答えが返ってきた。参考書いろいろ紹介してもらいました」。その時の8人ほどの仲間は、全員合格したそうです。「みんなに助けってもらって合格しました。友人のおかげで心折れることもなく、最後まで頑張れました。そ

の仲間たちとは今でも会っています。職場が違っていてもお互い同業者なので、集まれば仕事のこともプライベートな話題も何でも話せる。つい最近、旅行にも行きました。一生の仲間めぐりあえた私は幸せです」。

後輩へのメッセージ

学生時代にいろいろな人と出会い、学び、経験を積んで下さい。学生時代に一生懸命学んだことは、社会に出てからの強みになります。管理栄養士をめざす人は、絶対に学生時代に合格して社会に出てほしい。勉強するときは先生にも同級生にも味方になってもらいましょう。特に同級生とは相談合せて学ぶといいと思います。みんなの合格につながるように、自分の持っている知識を共有して、みんながんばってください!





相愛高等学校
音楽科2年生
谷本沙綾さん

02
在学生 LIVE REPORT

ヴァイオリンの調べに 将来の夢を託して

谷本沙綾さんは、第70回全日本学生音楽コンクール大阪大会ヴァイオリン部門で2位、全国大会でも見事に入選。スーパーキッズ・オーケストラの一員でもある多感な音楽少女に、日頃の学校生活や目標を聞きました。

みんなで音楽をつくれる楽しさ

去年4月、音楽科に入学した谷本さん。それまでは地元の中学に通いながらレッスンを受けていました。「コンクールでいい結果が出せるとうれしくて、もっと練習しようと思う。どんどんヴァイオリンが好きになっていきました」。今春からは弦楽器専攻の2年生です。

音楽はみんなで楽しさを創り出すもの。この



考えから、音楽科には独奏だけでなく連弾や室内楽、さらに仲間とペアを組んで作曲に取り組む授業などもあります。「いろんな楽器と一緒に演奏するのは楽しいし、ヴァイオリンの素晴らしい音を改めて考える機会にもなって、理解も深まります。ヴァイオリンは全て木でできたナチュラルな楽器。人の声と似ているところが魅力です」。では、相愛高校音楽科の魅力は？「レッスン室が整っているところ。先生が、生徒のレベルや考え方に合わせて教えて下さるところ。それに、コンクールに出るときに仲間が心から応援してくれるところ」。

仏教の授業で自分を見つめる

音楽以外に好きな科目はありますか？「生物です。自分で考えて理解していくのがおもしろいから」という答えが返ってきました。仏教の授業では、静かに手を合わせる黙想の時間が好き。「心が落ち着くし、自分を見つめ、振り返る時間をもつことは、普段の暮らしや演奏にもいい影響があると思います」。英語はちょっと苦手

だが、「音楽留学をしたいので、英語のコミュニケーション力をつけなくては、という思いでがんばっています」。

音楽の喜びを伝えたい

海外留学の目的は、世界の音楽を肌で知ることです。「ヨーロッパ、ロシアの音楽を現地で学んでみたいです。特に行ってみたい街はウィーン。憧れの音楽の都です」と目を輝かせて語ってくれました。

将来は「音楽の楽しさをもっとたくさんの人に伝えたい。ソロでもオーケストラでもかまいません。先生になるのもいいかなと思います。ヴァイオリンを始めたいという子どもたちに楽しさを教えてあげられるから」。今後の活躍に期待しましょう。



津村別院山門を相愛中学校・高校の正門として利用

お寺をもっと身近に

生涯にわたる心の依りどころを提供するために

●相愛中学校・高等学校 校長 安井大悟 × ●本願寺津村別院 輪番 木下慶心

今春より本校は宗教教育改革をスタート。その第一歩として、設立当初の母体である本願寺津村別院との連携を深め、生徒たちが学校生活の中でもっとお寺に親しみ、気軽に立ち寄れる場、相談できる場になってほしいという願いのもと、4月から登下校メインルートを変更し、津村別院山門を正門として利用することになりました。通学路変更の経緯や意図などについて、本校の安井大悟校長と本願寺津村別院の木下慶心輪番に対談いただきました。

— 今回の通学路変更に対する
想いをお聞かせください。

校長 相愛学園の生徒たちには
近くに本願寺津村別院という信仰
の場があるのに触れる機会があま

りない。これはもったいないことだ
と思います。信仰の場は、人生の
様々なことに気づかされる場でも
ありますから。そこでご輪番に「別院
の山門を通して通学できるようにし

たい」とご相談して、この変更が実
現しました。

輪番 よいお話だと思ったので、
別院側も早速準備を始めました。
かつてお寺はこの町村にもあり、
多くの人々の憩いの場だったので
す。仏教が本来担っていたそうい
う仕事を戻したいと、私もつね
づね思っていました。

— 変更のきっかけになるような出
来事がありましたか？

校長 きっかけといえば、昨年6
月、本願寺第25代専如ご門主様
ご巡教の折、津村別院で相愛の高
校生たちがコンサートを開催しまし
た。それを機に学校と別院の連携
がより深まりました。もともと相愛学園
は別院境内地に建った寺院学校で
すので、設立当初より別院とは日常
的な交流があったようです。別院へ
の親しみを、今の生徒が当時のよう
に感じてくれればと思います。

— 通学路が変わることで、どん
なことが期待できるでしょう？

輪番 若い人たちに別院を大い
に利用してもらい、ご家庭で宗教
について考えるきっかけとなれば喜

ばしいことです。また、全国からお
参りに来られる人々にとって、山門
で一礼してから登下校する生徒た
ちの姿は、仏に対する敬いの心を
示すお手本にもなるでしょう。

山門を通して登下校する生徒さ
んたちを見かけたら、私たち僧侶
は心から歓迎します。これからは、
生徒さんや保護者の方々、お参
りに来られた人、近隣オフィスで働
く人などに交じって境内を行き交
うようになる。これは現代社会にお
いてお寺のあるべき姿を表すことにも
なると 생각합니다。

校長 相愛中学・高校は、信仰
の心を核とした良き女子教育を、
保護者の皆様とともに進めていき
たいと改めて考えます。かつて、大
阪・船場の「いとほん」(お嬢さん)
を、自立心旺盛な「ごりよんさん」
(女主人)へと育て上げた伝統を
受け継いでいきたいですね。



左：安井校長 右：木下輪番



ラーニング commons 「クマルーム」開設!



2015年11月に、相愛女子短期大学被服専攻(昭和45年卒)の熊谷京子さまから、大学と同窓会への支援としていただいたご寄附により、6号館1階ロッカールームを改修整備しました。学生の社会連携・地域貢献活動を推進する場、学生が主体的に学び、創造する学習活動の場としての「クマルーム」が2016年12月に完成。熊谷京子さまご出席のもと、「クマルーム」開設記念

法要が営まれました。「クマルーム」は、多様なニーズに対応できるよう工夫されており、用途や活動のモードに合わせた新たなラーニング・commonsとしてたくさんの学生に活用されています。インターネットが活用できる環境、プレゼンテーションのためのプロジェクター、自由に移動できるホワイトボードといった、大学の学習に必要なツールも備わっています。



2月5日、ザ・フェニックスホールに於いて、音楽専攻科修了演奏会が開催されました。この演奏会は、大学卒業後に更なる研究・研鑽を積み、一人の音楽家として第一歩を踏み出すステージで、若き演奏家11名と作曲家2名が出演しました。一人ひとりの音楽観が滲み出た感動的な演奏会となりました。

若き演奏家たちのさらなる成長を期待して 修了演奏会 / 卒業演奏会

また3月22日には、いづみホールに於いて音楽学部卒業演奏会が開催され、選ばれた19名の演奏と作曲専攻生1名の作品が披露されました。4年間におよぶ学修の成果が存分に発揮され、若々しく情熱的な演奏が会場を包み込みました。両演奏会ともに、多くの聴衆より温かい拍手が送られ、今後の成長を期待するとともに、心からエールを送りたいと思います。



音楽に携わる 仕事を知る 音楽キャリア研究

音楽学科を卒業後、どんな進路があるのか知っていますか？ すぐに浮かぶのはオーケストラの一員やソロプレーヤーでしょう。しかし、それ以外にも音楽に携わりながら人生を歩む。そんな生き方があることを知って欲しくて、毎年、



音楽に携わる仕事をしている方から講演をいただいています。

楽器店や音楽教室、小・中学校の音楽の先生などとはどんな仕事をしているのでしょうか？ また、あまり知られていない世界ですが、自衛隊や警察、消防隊などに「音楽隊」があることを知っていますか？ このような仕事に直接携わっている先輩から仕事のやりがいや喜びについて語ってもらうことで、学生たちの可能性を広げていきたいと考えています。

独自の表現や技術の世界へ 第1回アジアサクソフォンコンgres



相愛サクソフォンアンサンブルの専攻学生と卒業生、計27名は、台湾嘉義市にて開催された「第1回アジアサクソフォンコンgres」に参加。世界中のサクソフォン奏者が集うこの大会では、独奏やアンサンブル演奏会、公開講座や独奏コンクールなど多彩なプログラムが催されました。そんな中、嘉義市文化局音楽ホールにて開催された「アンサンブルの夕べ」に出演し、多数の賛辞を頂戴することができました。また、他国でサクソフォンを学んでいる同世代の演奏に刺激を受けながら、私たちからは独自の音楽表現や技術を世界に発信することができました。

SNSに投稿された演奏会の動画には、今なお世界中から賞賛の声が寄せられています。

3月2日、いづみホールに於いて、円光寺雅彦先生の指揮の下、ソリストに出立和子さん(専攻科卒)を迎え相愛オーケストラ定期公演が開催されました。

前半1曲目は、ヴェルディの歌劇「ナブッコ」『序曲』。この曲の根底に潜む統一以前のイタリア人の希望に満ちた荘厳な演奏となりました。序曲の後はソプラノの出立和子さんによる、プッチーニの歌劇「妖精ヴィッリ」より「もしお前たちのように小さな花だったら」と(トスカ)より「歌に生き、恋に生き」の2曲。その後「マノン・レ

スコ」より「間奏曲」を挟み、ヴェルディの歌劇「椿姫」より「ああ、そはかの人か…花から花へ」の熱唱でした。

後半は相愛オーケストラによるベートーベンの交響曲第3番『英雄』。7年前より取り組んできたベートーベン交響曲の連続演奏も終盤となり、先輩とともに重ねてきたベートーベン作品への理解が深まった演奏となりました。

客席は多くの卒業生や在校生、父兄と相愛オーケストラのファンの方々。心温まる拍手で熱気のある定期公演となりました。



吹奏楽の魅力は 表現力と一体感

日本は世界屈指の吹奏楽大国。その人口は100万人を超えるらしい。テレビや映画、マンガにも取り上げられ、ますます盛んになっている。相愛ウインドオーケストラ長の飯塚朗教授と相愛ウインドオーケストラ指揮者の若林義人氏に吹奏楽の魅力について伺いました。



相愛ウインドオーケストラ長
飯塚 朗

「吹奏楽の魅力？ 何と言っても幅広い表現力でしょうね。吹奏楽オリジナルはもちろん、マーチ、クラシック、ジャズ、ポピュラー、映画音楽、ミュージカルナンバーなどジャンルにとらわれず演奏できるところが醍醐味ですね」と若林氏は言います。飯塚教授は「吹奏楽にはオーケストラとはまた違った音の響きと迫力があります。そして全員の音・音楽が一つになった時の一体感を味わえる喜びもたまりません。様々な楽器のソロ演奏が楽しめる点もあります」と話します。

相愛ウインドオーケストラは1979年に設立。管打楽器専攻生が吹奏楽ならではの多彩さを表現しようと腕に磨きをかけてきました。演奏会やコンサートは質の高い演奏と躍動感あるステージパフォーマンスが人気を集めるまでに成長。「演奏会はザ・シンフォニーホールなど一流のホール

でも開くのですが、この経験が確実にレベルアップにつながっています」(飯塚教授)。

演奏の幅を広げ、柔軟に対応できるようにポップスにも力を入れている。「クラシックしか知らない、というのはこれからの時代、通用しなくなりますから。ポップスの演奏法を学んでおけば、演

相愛ウインドオーケストラ指揮者
若林 義人



奏家としてはもちろん、指導者になった場合でも大いに役立ちます」(若林氏)。「音楽学部にはソリストを目指して必死に勉強している学生が多くいます。でも、みんながソリストになれるわけではありませんから、アンサンブルや合奏で『合わせる技術』をきっちり身に付けるよう指導しています。合奏のテクニックを学べばソリスト以外の道も選べますから」(飯塚教授)。

今後について飯塚教授は「相愛の学生は誠実で真面目すぎるくらい。もっともっとはじけてほしいのが本音ですね。殻を破って自分を出せるようになると、表現力が上がり、さらに素晴らしい演奏になります。これからの課題ですね」。若林氏は「吹奏楽は限りない可能性を秘めています。常に感動を与える演奏を目指し、日本一の吹奏楽団になりたいですね」と目を輝かせます。



ウインドポップスコンサート = 2017年3月12日

第67回定期演奏会を終えて



大阪応援プロジェクト
大阪人の
解体新書

ホシムに

その「大阪」って合うてる？

学生がプロデュースする「新しい大阪」探し



2月11日、相愛大学本町学舎において、ステレオタイプな大阪人のイメージを疑う「大阪人の解体新書!？」が開催されました。学生が自ら企画プロデュースし、大阪大学の金水敏先生をメインゲストに迎えてシンポジウムを行いました。なぜ大阪のおばちゃんはお派手な服を着るのか? など、典型的な姿を学生が寸劇で紹介し、それについて学生が素朴な疑問を金水先生に投げかけ、討論を行うという形で進行。討論の熱は会場全体に広がり、来場者も加わるという予期せぬ事態にまで発展しました。一般

来場者の一人は、「私たちが何気に思っていることでも、掘り下げると意外な事実があるのですね」と声をかけて下さいました。また、同じく来場していた卒業生の一人は、「後輩たちがこんなに堂々とイベントをやるなんて!」と眼を細めていました。リーダーを務めた宇田遙さん(3回生)は、「企画がスタートした当初から、不安な気持ちに押しつぶされそうになりながらも、みんなで頑張ってきました。これを通して大学で学ぶ原点に気付かされました。それが私の何よりの成果です」と当日の成功を喜んでいました。



学外研修 身近な場所で異文化を体験

11月22日、人文学部の2回生と教員による学外研修が神戸で行われました。今回は「国際交流と宗教」をテーマに、神戸南京町から生田神社・イスラムモスク・キリスト教バプテスト派教会・北野異人館などをめぐりました。宗教専門の先生や施設スタッフの方から説明を受け、各宗教宗派の特徴などを体験的に学ぶことができました。楽しくも充実した研修となりました。

日本文化特殊講義(大阪文化)

仏教と話芸との関係を探る



今年も、「日本文化特殊講義(大阪文化)」が開講されました。テーマは「仏教と芸能」です。

この講義は一般公開されていて、学生と一般受講者が同じ教室で学ぶことになります。講義は3パートの構成となっており、第1パートは

積徹宗教授による「宗教と芸能の講義」、第2パートは芸能の実演やゲスト講師のレクチャー、第3パートは桂春之輔客員教授による芸談と質問シートへの応答です。

講義内容のベースは「日本仏教の説教と落語」です。今年は、「八五郎坊主」や「餅屋問答」などの落語に加え、上方舞や浪曲についても実演を交えて学びました。

また、浄土真宗特有の説教方法である節談説教を聴聞するのも、この講義の大きな特徴です。



日本仏教学会学術大会

仏教における新しい「人間」の姿

9月6・7日、本学で日本佛教学会学術大会が開催されました。「人間とは何か：人間定義の新次元へ」を共同研究テーマとし、国内の学界を代表する専門家たちが、仏教独自の人間定義を展開しました。宗教の文脈を使用することなく、人間を語る姿勢が近代社会の大きな特

徴でしたが、科学の発達によって従来の人間定義ではうまく解けない課題が生じており、仏教の教理・教学が持つ多彩な学説の特徴を最大限に発揮し、新たな人間定義が提唱されました。



子ども
発達学科

着実に広がる 実践の場

地域社会や企業に 求められる相愛大学

発達
栄養学科

プロジェクト型アクティビティ(PA)

夏休み『自由研究お助けシリーズ』

人間発達学部では、地域の方と学生との「プロジェクト型アクティビティ」を年間で20企画以上開催し、学生の実践力を高めています。2016年8月



学生と一緒に下ごしらえ・思い思いにトッピング

には、小学生を対象とした「夏休み『自由研究お助けシリーズ』」を実施。8つのテーマ(プログラム一覧参照)で企画したところ、毎回20名の定員がいっぱい。イキイキと取り組む子どもが印象的で、学生たちも楽しくサポートでき、やりがいを感じていたようです。参加者からは、「家庭で作ってみたよ」、「学校の作文の題材にしました」などのレポートをいただきました。

子ども発達学科が担当した『ペットボトルでクッキング』ふわふわ生地からピザを作ろう!では、ペットボトルからグニュッと出てくるピザ生地に、子どもたちは大興奮。思い思いにトッピングをして、焼き上がりまでオープンにはついていました。夏休みの思い出のひとつになったかなとうれしく思います。



はやく焼けないかな〜

夏休み「自由研究お助けシリーズ」プログラム一覧

- ペットボトルでクッキング
ふわふわ生地からピザを作ろう!
- あわあわぷくぷく
どらやきを焼いてみよう!
- カラフル人エイクラを作ろう!
海藻の謎に挑戦
- 身近な素材でオリジナルスタンプ
づくりにチャレンジ!
- ふにゅふにゅのびのび
いろんな味のグミを作ろう!
- ひんやりとろーん
オレンジジュースと牛乳で冷たい
目玉焼きを作ろう!
- 牛乳パック変身!
再生紙を作って「見る」
- 合言葉はひみつ!
海藻を使って浮き出る文字のお吸
い物を作ってみよう!

学内プロジェクト型学修 相愛子どもわくわく あそび広場

4年間のカリキュラム編成方針を踏まえ、学年進行に伴う専門性を高めるために学内プロジェクト型学修を展開しています。これにより、目的に合わせた多様な世代との交流を計画し、実施できる実践力やマネジメント力の向上をめざします。数多くのプロジェクトを展開する中、最大規模のイベントが「相愛子どもわくわくあそび広場」。第3回目を10月29日に開催しました。5月の4回生による企画会議から始

反省会の様子



まり、2・3回生が合流、8月には1回生も加わり、学年間での学びをつなげながら実施しています。体育館に、けん玉、バルーンアート、1万個のドミノ、手作りゲーム等々10種類のあそびコーナーを開設し、学生たちが運営。当日は子どもから大人まで約300名が来場しました。



睨州子どもフェスタ2016

親子で体験!親子で楽しむ!



大阪市・府と民間が連携した子ども対象の大イベント「睨州子どもフェスタ2016」

が11月3・5・6日に南港ATCで開催されました。5日に「親子でわくわく体験フェスタ」をテーマに、親子で楽しめる遊び体験コーナー『作って遊ぼう! (バルーンアート、簡単工作)』と『お話をうたを楽しもう! (紙芝居や大型絵本など)』を開設。1~4回生総勢20名が学生スタッフとして各コーナーを担当し、すばらしい対応でした。あふれるほどの親子が訪れ大盛況でした。

お話劇の様子

相愛大学 & 大阪府立急性期・総合医療センター

第3回糖尿病フェスタ 「びっくりぼん!糖尿病!!」



11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、11月19日に大阪府立急性期・総合医療センターと共催で「糖尿病フェスタ」を開催しました。今年は「びっくりぼん!糖尿病!!」をテーマに、3回生全



員が「野菜や減塩」のミニ講義や紙芝居、体脂肪・骨密度測定、食事診断など体験学習コーナーを担当。学生たちは「学んだことをわかりやすく伝えることの難しさを実感しました」と充実した様子でした。



とんかつKYK
「秋を楽しむ彩り弁当」

相愛大学 & 京阪百貨店

4つの商品開発プロジェクトが始動!!

1・2・3回生23名は、京阪百貨店と共同した4つのプロジェクトに参加し商品を開発。秋の感謝祭では、京阪百貨店で人気の高い「とんかつKYK」「マリー・カトリヌ」とコラボして、「秋を楽しむ彩り弁当」「紫イモのプチハート」を完成させ、10月に販売しました。「私たちのアイデアがたくさん詰まった、見た目も味も華やかな仕上がりに満足です」と担当学生。京阪百貨店「2017おせち料理」の企画では、「美味笑福」「美味菜寿」の2種類を開発。伝統食材を活かしながら健康を気づかう方にも配慮し家族三世代で楽しめるおせちが完成しました。



「美味笑福」おせち

相愛大学 & 老舗料亭 徳

第5弾 春の新作弁当 好評発売中! 第2弾 レトルトカレー



1回生・2回生の女子学生5名が大阪の老舗料亭「徳」とカレーを共同開発しました。第2弾は「愛がけカレー」。豆と野菜の欧風カレーと生姜香るキーマカレーのあいがけカレーで、濃淡2種類のルーを使い2つの味が同時に楽しめます。「それぞれに具材の使い方や味のバランス、スパイスにこだわり、試行錯誤を重ねて、ボリューム満点に仕上がりに、しかもヘルシーです」とリーダーの中村衣良さん(3回生)。

コラボ第5弾として、1・2・3回生15名が魚・肉・野菜チームに分かれて、上質な食材をふんだんに使った「懐かしい、新しい、おさかごはん」のお弁当3種類を開発。3月より期間限定で販売中。「食べ物の価値は美味しさが価格を上回ることであり、その美味しさを決めるのはお客様である」という「徳」の驚岡和徳代表取締役のアドバイスのもとに学生たちは試行錯誤を繰り返しました。



すべてのおかず
肉を入れた
にくデリ

野菜メインで
華やかな
ハビベジ!

8種類の魚介類を
詰め合わせた
おさかな道楽

第10回 食育推進 キャンペーン

毎年2月上旬に南港ポートタウンショッピングセンター内におい

て実施している食育推進キャンペーンは今年で10回目を迎えました。食育のできる管理栄養士をめざす2回生が、朝食、野菜、おやつをテーマに、手作りの媒体を通して地域の子どもたちへ食育レクチャーを実施。「私

ちが伝えたことが子どもたちの食を考えるきっかけになれば最高です」と学生たちは初めての食育に挑戦。今年は新しい試みとして、ポスターや紙芝居から「食」を通したいのちの大切さを啓発するブースを併設しました。





関西吹奏楽コンクール 2年連続出場 大阪府アンサンブルコンテスト 7年連続金賞

中学校:近畿大会 3年連続出場 高校:大阪府新人大会 2年連続ベスト8

吹奏楽部 聴く人を感動させる音楽を目指して

吹奏楽部は21名という少数で活動を行ってきました。夏に行われた吹奏楽コンクールには高等学校小編成の部に出場し、北地区代表、さらに大阪府代表として2年連続で関西大会に出場することができました。関西大会は和歌山県民文化会館で開かれ、夏休みを返上して取り組んできた「アート・イン・ザ・パーク」

を熱演。見事銀賞をいただきました。さらに、12月にはアンサンブルコンテストに管打八重奏で出場し、金賞を受賞しました。アンサンブルコンテストに出場するようになってから、7年連続の金賞受賞です。吹奏楽部はこれからも聴く人に感動していただける音楽を目指して、凡事徹底を意識して頑張っており、



大編成で楽しい音楽 第6回定期演奏会

吹奏楽部の定期演奏会も今年で第6回を迎えることができました。今年も、卒業生へ参加を募り、総勢37名による演奏会となりました。

演奏会は、現役の部員による合奏、ソロコンテストやアンサンブルに出場したプログラム、卒業生を加えた大編成での演奏を披露しました。吹奏楽のオリジナル曲やアレンジ曲、去年ドラマの主題歌で流行した「恋」にダンスも加え、楽しい演奏会となりました。

輝き放つ新成人



1月5日に北御堂(津村別院)にて2014年度卒業生の「成人の集い」が行われました。理事長、学園長、校長をはじめ多くの教職員、保護者とともに厳かな雰囲気なかで法要が行われ、成人＝大人の仲間入りを果たしました。記念写真撮影での卒業生たちの晴れ姿は、溢れんばかりに光り輝いていました。これからの10年、20年がさらに輝いていくことを念じるばかりです。



バレーボール部 大阪一はもう目前！ 強豪校としてのブランドを確立！

中学校は大阪府秋季総合体育大会2年連続3位となり、ジュニアオリンピックカップにも3名が選出され、全国大会で活躍しました。また、新人大会ではベスト8となり、3月の近畿大

会に3年連続で出場しました。高校は7月に近畿大会出場、大阪府新人部別大会は1部優勝、大阪府新人大会では2年連続ベスト8となりました。

仲間と共に夢へ挑戦を合言葉に、中学、高校共に大阪一を目指し頑張っています。



高校 学んだ教を胸に 高3帰敬式・参拝式

2月20日、本願寺において、高校3年生が帰敬式並びに卒業奉告参拝式に臨みました。静寂な空気に包まれる中、総勢85名の希望者が帰敬式を受式し、ご門主様よりおかみそりがあてられました。生徒代表として有田朋加さんが帰敬文を読み上げ、水口ひなさんが法名を拝受し、ともに相愛学園で学んだ教を胸に、これからも力強く生き抜いていくことを誓いました。

参拝後は大谷本願へと場所を変え、明著堂前にてクラス毎に参拝し、無事に卒業の日を迎えた喜びと感謝の気持ちを親鸞聖人にお伝えすることができました。



高校 雪国で得た大きな経験 高1冬季集団生活

1月31日から3日まで、高校1年生は北志賀高原よませスキー場で冬季集団生活を行いました。3メートルの積雪があり、前日に降った新雪を圧雪した上に晴天という、この上ないコンディションで講習がスタートしました。コーチの熱心な指導で初日の午後には、初めてスキーをした生徒たちが、まるで経験者のような滑走をして、とても驚かされました。怪我や病気になった生徒もなく、素晴らしい体験学習の場となりました。



大学



晴れの日を祝うかのような青空に恵まれた3月18日、2016年度の相愛大学卒業証書授与式、相愛大学音楽専攻科修了証書授与式が本学南港ホールにて挙行されました。音楽学部87名、人文学部63名、人間発達学部116名、音楽専攻科13名が卒業証書・修了証書を受け取りました。

式は、雅楽で始まる音楽法要で営まれ、相愛ならではの荘厳かつ厳肅な雰囲気にも包まれていました。満面の笑顔と華やかな袴姿の女子学生、これから歩む社会人としての凛々しい顔立ちをした男子学生の姿に、教員、保護者の中には涙を浮かべる光景が見られました。

2016年度卒業式 未来へ新たな旅立ち



3月11日、相愛中学校の2016年度卒業証書授与式が本町学舎講堂にて行われました。厳肅な雰囲気にも包まれ、多くのご来賓や保護者、教職員、在校生が見守る中、一輪の赤いカーネーションを胸に挿した卒業生51名が卒業証書を受け取りました。一人ひとりの顔には義務教育を終えた凛々しさが表れ、彼女たちは自立への大きな一歩を踏み出していました。

中学



高校



2月28日、2016年度相愛高等学校卒業証書授与式が挙行され、新たな一歩を踏み出しました。式が始まると同時に顔をくしゃくしゃにしながら入場する生徒、自らの成長に自信と誇りを持って入場する生徒、生徒たちの様々な表情は、充実した学校生活であったことを物語っているようでした。そんな卒業生に校長より卒業証書が手渡されました。多くのご来賓や保護者に見守られて、95名の生徒が相愛高等学校を巣立っていきました。

式後には、リーガロイヤルホテル大阪で卒業記念パーティーが開かれました。合唱を披露したり、お世話になった先生方に感謝の気持ちを乗せた贈り物をしたり、あるクラスは思い出を編集した映像を流し、会場は爆笑の渦に巻き込まれました。



コンクール入賞者

《 高校 》

大岡 光咲 (高1 ピアノ)	●第4回アルカスピアノコンクール 第3位
廣岡 和佳 (高1 ピアノ)	●第26回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会入選
長尾 野々花 (高1 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 高校・一般の部 大阪地区ファイナル 銀賞
松浦 華奈 (高1 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 高校・一般の部 大阪地区ファイナル 審査員特別賞
谷本 沙綾 (高1 ヴァイオリン)	●第70回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 高校の部 大阪大会第2位 全国大会入選
都呂須 七歩 (高1 ヴァイオリン)	●第26回日本クラシック音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会入選
松蔭 ひかり (高1 チェロ)	●第70回全日本学生音楽コンクール チェロ部門 高校の部 名古屋大会第2位 全国大会入選
谷本 沙綾 (高1 ヴァイオリン)	●第17回大阪国際音楽コンクール デュオ部門 第3位
松蔭 ひかり (高1 チェロ)	●第17回大阪国際音楽コンクール デュオ部門 第3位
西村 未来 (高2 声楽)	●第2回豊中音楽コンクール 高校生の部 入選
三木 彩乃 (高2 声楽)	●第31回全日本ジュニアクラシック 音楽コンクール 声楽部門 全国大会入選・審査員賞
小島 美久里 (高2 ピアノ)	●第26回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会入選
白岡 早苗 (高2 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 高校・一般部門 大阪地区ファイナル 特別賞
杉本 舞 (高2 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 高校・一般部門 和歌山地区ファイナル 金賞
福岡 彩 (高2 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 高校・一般部門 大阪地区ファイナル 特別賞
坂口 実穂 (高2 フルート)	●第31回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール フルート部門 全国大会入選
光吉 奈央 (高2 フルート)	●長江杯国際音楽コンクール 管楽器高校の部 1位2位なしの3位
岸田 佳那子 (高2 ヴァイオリン)	●第10回ベータン音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会入選
伴 結生 (高2 ヴァイオリン)	●第4回いかるが音楽コンクール プロフェッショナルSection 弦楽器高校生の部 第2位
川北 菜未 (高3 声楽)	●第8回徳島音楽コンクール 声楽部門 高校生の部 銀賞
原田 友梨佳 (高3 ピアノ)	●教育連盟オーディション ピアノC 地区大会 優秀賞
新内 愛菜 (高3 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 ソロ演奏部門 地区ファイナル 奨励賞
松田 明音 (高3 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 ソロ演奏部門 奈良地区ファイナル 金賞
水口 ひな (高3 電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2016 ソロ演奏部門 大阪地区ファイナル 金賞
村上 舞優 (高3 電子オルガン)	●ヤマハエレクトーンコンクール2016 セミファイナル出場
鈴木 帆乃夏 (高3 トロンボーン)	●第2回堺学生音楽器ソロコンクール2016 金管楽器部門 高校の部 第3位
浦島 朱音 (高3 ヴァイオリン)	●第10回ベータン音楽コンクール 高校生自由曲部門 全国大会 第6位
今川 こころ (高3 ヴァイオリン)	●第23回ヨハネス・ブラームス国際コンクール バイオリン部門 セミファイナリスト・審査員特別賞
松岡 のどか (高3 ヴァイオリン)	●第10回ベータン音楽コンクール 高校生自由曲部門 全国大会 入選

《 中学 》

松蔭 さとり (中1 ヴァイオリン)	●第70回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 中学校の部 大阪大会入選
鬼塚 美瑠紅 (中2 ピアノ)	●第10回ベータン音楽コンクール全国大会 自由曲コース中学生の部 全国大会入選
小谷 華梨 (中3 マリンバ)	●第20回全日本中学生・高校生管打楽器 ソロコンテスト関西大会 マリンバ独奏 優秀賞

《 音楽教室 》

岡村 有紗 (小4 ヴァイオリン)	●第5回みおつくし音楽祭クラシックコンクール 弦楽器小学生中学年の部v 第1位/大阪市教育委員会賞
上村 莉子 (高1 ピアノ)	●第7回パッパコンクール神戸地区大会 高校生A 優秀賞

2016年度 退職者一覧

大学 教員	中学校・高等学校教員
共通教育センター 北 克一	秋田 孝子 伊藤 貴志 岡崎 彰
音楽学部 小栗 まち絵	佐藤 有紀 前平 千聖 村木 真寿美
片岡 尹	山中 美佳 吉内 友理 米田 郁雄
人文学部 木下 有子	事務局
人間発達学部 呉谷 充利	石井 麻里奈 小北 見子 古口 賢一
太田 美穂	角 容子 田尻 有紀 玉井 由加利
助手	月浦 俊美 篠野 真由 山口 肇
榎 弥香 角田 綾香	

相愛学園 Event Guide

(2017年5月～12月)

(本) = 本町学舎
(南) = 南港学舎

- 市民仏教講座
5月6日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- 特別奨学生による演奏会
5月9日(火)・10日(水)
(南) ホール 入場無料
- 公開講座
「バロック時代の舞踏と音楽」
5月12日(金) (南) ホール 入場無料
- ファプリス・ミリシェー
トロンボーン公開講座
5月17日(水) (南) ホール 聴講無料
- 親鸞聖人降誕会法要
5月20日(土)
- 相愛大学オープンキャンパス
5月21日(日) (南) キャンパス
- 全日本吹奏楽コンクール
課題曲講習会
5月28日(日) (南) ホール 受講無料
- 相愛コンサート
(ピアノ室内楽教員による)
5月31日(水) (南) ホール 入場無料
- 公開講座 ヴィオラスペース2017
6月1日(木) (南) ホール 受講無料
- 市民仏教講座
6月3日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- ウィンドオーケストラ発表演奏会
6月5日(月) (南) ホール 入場無料
- 定例礼拝
6月8日(木) 13:20～14:50
(南) ホール 自由参拝
- 公開講座「人文学を楽しむ」①
6月10日(土)
(本) F604教室 受講無料
- 第1回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
6月10日(土) (本) 学舎
- 第13回市民公開フォーラム
6月17日(土)
- 電子オルガンchallenge2017
6月17日(土) (本) 講堂 入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス
6月18日(日) (南) キャンパス
- 音楽科 乙女コンサート(高3)
6月24日(土) (本) 講堂 入場無料
- 新入生金管アンサンブル演奏会
6月29日(木) (南) ホール 入場無料
- 市民仏教講座
7月1日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料

- 沙羅の木会ホームカミングデー
7月2日(日) (南) 学舎 参加無料
- 定例礼拝
7月6日(木) 13:20～14:50
(南) ホール 自由参拝
- サマーコンサート(音楽教室)
7月8日(土) (本) 講堂 入場無料
- 公開講座「人文学を楽しむ」②
7月15日(土)
(本) F604教室 受講無料
- 相愛大学オープンキャンパス
7月23日(日) (南) キャンパス
- 第2回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
7月27日(木) (本) 学舎
- 相愛大学オープンキャンパス
8月6日(日)・7日(月)／19日(土)
(南) キャンパス
- 市民仏教講座
9月2日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- 相愛大学オープンキャンパス
9月10日(日) (南) キャンパス
- 公開講座「人文学を楽しむ」③
9月16日(土)
(本) F604教室 受講無料
- サクソフォン・アンサンブル演奏会
9月16日(土) (南) ホール 入場無料
- 第3回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
9月16日(土) (本) 学舎
- 体育祭(中学・高校)
9月26日(火) 大阪府立体育館
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」①
9月30日(土)
- 音楽科 乙女コンサート(高2)
9月30日(土) (本) 講堂 入場無料
- 定例礼拝
10月5日(木) 13:20～14:50
(南) ホール 自由参拝
- 相愛オーケストラ
第68回定期演奏会
10月6日(金)
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」②
10月7日(土)
- 市民仏教講座
10月7日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- 公開講座「人文学を楽しむ」④
10月14日(土)
(本) F604教室 受講無料
- 大学祭
10月14日(土)・15日(日)
(南) キャンパス

- 管打楽器専攻成績優秀者による
独奏演奏会
10月17日(火)
(南) ホール 入場無料
- トロンボーン・アンサンブル演奏会
10月19日(木)
(南) ホール 入場無料
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」③
10月21日(土)
- 第4回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
10月21日(土) (本) 学舎
- 木管アンサンブルフェスタ
10月24日(火)
(南) ホール 入場無料
- バリ・チューバ・アンサンブル
演奏会
10月26日(木)
(南) ホール 入場無料
- フルートオーケストラ演奏会
10月28日(土)
(南) ホール 入場無料
- 第1回音楽科定期演奏会
(中学・高校)
10月28日(土) 13:30開演
(本) 講堂 入場無料
- 声楽公開レッスン
11月1日(水)
(南) ホール 聴講無料
- 報恩講法要
11月2日(木) (南) ホール
- ホルン・アンサンブル演奏会
11月2日(木)
(南) ホール 入場無料
- 文化祭(中学・高校)
11月3日(金) (本) 学舎
- クラリネット・アンサンブル演奏会
11月4日(土)
(南) ホール 入場無料
- 市民仏教講座
11月4日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- 打楽器アンサンブル
第30回記念演奏会
11月5日(日)
(南) ホール 入場無料
- 弦楽アンサンブル演奏会
11月7日(火)
(南) ホール 入場無料
- 相愛コンサート(声楽教員による)
11月9日(木)
(南) ホール 入場無料
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」④
11月11日(土)

- 相愛ウィンドオーケストラ
第39回定期演奏会
11月13日(月)
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑤
11月18日(土)
- 相愛大学オープンキャンパス
11月19日(日) (南) キャンパス
- 作曲専攻作品発表会
11月19日(日)
(南) ホール 入場無料
- 電子オルガン演奏会GIFT
(中学・高校)
11月22日(水)
(本) 講堂 入場無料
- トランペットアンサンブル演奏会
11月30日(木)
(南) ホール 入場無料
- 市民仏教講座
12月2日(土) 13:30～15:00
(南) 学生厚生館S307 受講無料
- コントラバス・アンサンブル演奏会
12月5日(火)
(南) ホール 入場無料
- 成道会法要
12月7日(木)
(南) ホール 自由参拝
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑥
12月9日(土)
- 相愛寄席
12月9日(土) (本) 講堂
- 第62回相愛大学附属音楽教室
修了演奏会
12月16日(土) (本) 講堂
- 相愛大学オープンキャンパス
12月17日(日) (南) キャンパス
- 金管アンサンブルフェスタ
12月18日(月)
(南) ホール 入場無料
- 音楽学古楽実習発表会
12月19日(火)
(南) ホール 入場無料
- 学内オペラ公演
12月24日(日)
(南) ホール 入場無料



WITH ALL
SOAI
相愛大学
SOAI UNIVERSITY

**卒業生・修了生対象
「就業力調査」実施中!!**

調査に関する詳細はホームペ
ージより「就業力調査」のバナ
ーをクリック

●本学教員の近刊図書●

『月々のことば(平成29年版)』
佐々木隆晃他 共著

●本願寺出版社(2016年9月発行)
定価756円(税込)